

県内企業2016年3月期決算

営業収益	経常損益	純損益	配当
バローHD (連) 497,463 (5.7) (予) 520,000	17,586 (9.2) 19,400	10,759 (16.8) 11,500	36.00 40.00

【注】単位は百万円、%、配当は円。(連)は連結、(予)は2017年3月期予想。かっこ内は前期比増減率。

バロー過去最高益

3月期ドラッグストア好調

バローホールディングスが9日発表した2016年3月期連結決算は、ドラッグストア(DS)事業が新規出店効果などで好調だったほか、主力のスーパーマーケット(SM)、ホームセンター(HC)の2事業も堅調で、売上高に相当する営業収益は21期連続の増収となり、過去最高だった。営業、経常、純利益も増益で過去最高。17年3月期は引き続き積極的な新規出店を計画し、営業収益は初の5千億円の大台突破を目指す。

SMの既存店売上高は前期比0・2%減だったが、開設店舗やSM子会社タチヤの競争力向上が増収に寄与。DSは食品の品ぞろえ強化や調剤事業の拡大

損益面では、SM事業で精肉加工として5

カ所目の拠点、可児市ロセスセンター(可児市)が15年8月に稼働し、バロー全店に精肉を供給できる体制が整い効率化が進むなど、インフラを活用した改善効果が寄与。DSの拡大もあり、増益を確保した。

17年3月期は、DSで過去最多の40店舗を出店し、SM10店舗など合わせ計62店舗の出店を計画。積極出店に加え、既存店競争力を向上し、増収増益を見込む。